

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>									
<b>Q-1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
<b>1.1 騒音</b>									
1 暗騒音レベル									
2 機械騒音対策									
<b>1.2 遮音</b>									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
<b>1.3 吸音</b>									
<b>2 温熱環境</b>									
<b>2.1 室温制御</b>									
1 室温設定									
2 機械空調・遠隔制御性									
3 外皮性能									
4 ゾーン別制御性									
5 温度・湿度制御									
6 個別制御									
7 時間や空間に対する配電									
8 監視システム									
<b>2.2 湿度制御</b>									
<b>2.3 空調方式</b>									
主要諸室の上下温度差・気流速度抑制に配慮した空調方式の採									
<b>3 光・視環境</b>									
<b>3.1 昼光利用</b>									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
<b>3.2 グレア対策</b>									
1 照明器具のグレア									
2 昼光制御									
<b>3.3 照度</b>									
1 照度									
2 照度均斉度									
<b>3.4 照明制御</b>									
1作業単位で制御可能かつ、端末・リモコン等で調整可能									
<b>4 空気質環境</b>									
<b>4.1 発生源対策</b>									
1 化学物質汚染									
2 防臭対策									
3 タバコ対策									
4 レンズホコリ対策									
<b>4.2 換気</b>									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4 給気計画									
<b>4.3 運用管理</b>									
1 CO <sub>2</sub> の監視									
2 喫煙の制御									
建物全体を禁煙として計画									
<b>Q-2 サービス性能</b>									
<b>1 機能性</b>									
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
<b>1.2 心理性・快適性</b>									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
<b>2 耐用性・信頼性</b>									
<b>2.1 耐震・免震</b>									
1 耐震性									
2 免震・制振性能									
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>									
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔									
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔									
3 配管・配線材の更新必要間隔									
4 主要設備機器の更新必要間隔									
<b>2.3 適切な更新</b>									
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新									
2 配管・配線材の更新									
3 主要設備機器の更新									
<b>2.4 信頼性</b>									
1 空調・換気設備									
2 給排水・衛生設備									
3 電気設備									
4 機械・配管支持方法									
5 通信・情報設備									
空調設備・換気設備の系統区分あり/災害時に対応した運転が可能									
通信機能の多様化・複数の通信事業者の採用									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>4.0</b>	0.29	-	-	<b>4.0</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>					<b>4.2</b>	0.31	-	-	
1 階高のゆとり				1F・2Fの平均階高4.0mを確保	5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				事務室の荷重は4900N/m <sup>2</sup> に設定	<b>5.0</b>	0.31	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>					<b>3.1</b>	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性					3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性				給排水管は構造部材を傷めることなく修繕・更新が可能	4.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		G			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		G		評価ポイントで4ポイント獲得	<b>4.0</b>	0.20	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>					<b>3.5</b>	0.40	-	-	<b>3.5</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			S		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>	W	G		評価ポイントで5ポイント獲得	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>LR-1 エネルギー</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 建物の熱負荷抑制</b>	W				<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>					<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>3 設備システムの高効率化</b>	W			設計一次消費エネルギー消費量が基準一次消費エネルギー消費量以下となる計画とする	<b>4.0</b>	0.30	-	-	<b>4.0</b>
<b>4 効率的運用</b>					<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
4.1 モニタリング	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 水資源保護</b>					<b>3.6</b>	0.15	-	-	<b>3.6</b>
1.1 節水	W			省水型機器+擬音装置の採用	<b>4.0</b>	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
<b>2 低環境負荷材</b>					<b>3.1</b>	0.85	-	-	<b>3.1</b>
2.1 資源の再利用効率					<b>2.3</b>	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				<b>2.0</b>	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W			評価項目対象の建材19項目について指定化学物質の含有無を採	<b>5.0</b>	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				<b>3.0</b>	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W			躯体と仕上材が容易に分別可能(鉄骨造)	<b>4.0</b>	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					<b>3.3</b>	0.18	-	-	
1 消火剤	W			ハロン消火器の使用無し	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
<b>LR-3 敷地外環境</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 大気汚染防止</b>	W				<b>3.0</b>	0.15	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 騒音・振動・悪臭の防止</b>				商業地域における基準値をレベル5の内容で満たす	<b>3.6</b>	0.10	-	-	<b>3.6</b>
2.1 騒音					5.0	0.33	-	-	
2.2 振動					3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	-	
<b>3 風害、日照障害の抑制</b>					<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	
<b>4 光害の抑制</b>				光害ガイドラインの内容の過半以上を満たした計画とする	<b>5.0</b>	0.05	-	-	<b>5.0</b>
<b>5 温熱環境悪化の改善</b>	W	G	S		<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>6 地域インフラへの負荷抑制</b>					<b>3.9</b>	0.30	-	-	<b>3.9</b>
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制				評価ポイントで6ポイント獲得	5.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S	評価ポイントで6ポイント獲得	4.0	0.30	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		事務所	-	-	-	面積按分 総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	2,129 m <sup>2</sup>	-	-	-	<b>3.0</b>
3	設備システムの高効率化	<b>4.0</b>	-	-	-	<b>4</b>
3.2	換気設備					-
3.3	照明設備					-
3.4	給湯設備					-
3.5	昇降機設備					-